

の一てんき彼氏と悲恋のゴースト

～カレの命と引き換えに性契約～

9:特典 フリートーク 三橋渡さん

はい、フリートークでございまーす！

この度はですね、Looney's Cat 様の「の一てんき彼氏と悲恋のゴースト～カレの命と引き換えに性契約～」をお聴きいただきましてありがとうございます！彼氏の方、勇千を演じさせていただきました三橋渡と申しまーす。えー、フリートークでございませう……(笑)

先ほどのトラックでものすごいテンション高くやらせていただいてたんですけども、ちょっと落ち着いてね、ちょっと少しだけ休憩をいただいて冷静になりながらお話を始めております。よろしくお願い致します。

ではですね、トークテーマをいただいておりますので、そちらについてお話して参ります！まず一つ目。収録を終えての感想・演じてみた感想をお願いします。また、当日はどのようなコンディションだったとかハプニングがあったとか、そういった撮影日ならではのエピソードがありましたら教えてくださいという事なんですけども。そうですね、まず演じさせていただいたところなんですけど。勇千君みたいなカラッとした賑やかな子を演じさせていただくのはすごく楽しいですよ。なんかね、こういう子をやらせていただくと自分も何か一緒にウキウキしてくるというか、びっくりしたりとか喜んだりとかすごく感情表現がストレートなので、そういうところを一緒になってわあー！みたいな気持ちでやらせていただいておりますので、聴いていただいている皆様も一緒に楽しんでいただけたら嬉しいなと思っております！

あと収録日ならではのエピソードというところ……、あの、ハプニングとかではないんですけど、最後のシーンだいぶ僕がはしゃいだなー！っていう実感がすごいありまして、はしゃぎ終わったなーという感じがすごいあるので……(笑) OK をいただけたしすごく楽しかったんですけど、今冷静になってちょっと若干、だ、だだ、大丈夫かな、ドキドキ……みたいな気持ちがちょっとあります！(笑) 完成版を聞くのが楽しみですなー、ハイ。

えー、続きましてトークテーマ2つ目。台本を読んだ印象などありましたら教えてくださいという事なんですけど。台本の感想は、ハートウォーミング？うん。あの、ハッピーエンドのド真ん中みたいなハッピーエンドだなーってすごく安心して楽しんでいただけるんじゃないかなっていう事がまず1つあって。プラス、色々な要素がすごくある、いろんな楽しみ方ができる遊園地のような……。例えが完全に小学生が行きたい所ですけど。あ！遊園地は小学生以外の皆さんもみんな行きたいですよ！間違えました！えっと、なんだろうな。そう、

あーもう下手くそ！(笑) とにかく遊園地みたいな感じがあるんじゃないかなと思っていて。いろんなアトラクションがある感じっていうか。お化け屋敷とかもそうですし、あとはジェットコースターみたいな展開が一気に変わるところとか。甘々なシーンは、何だ？メリーゴーランド？ とにかくいろんなアトラクションがあって色んな側面を楽しませてくれるっていう作品なのかなと思っていますので、皆様もそういった色んな側面楽しんでいただけたらいいですし、主にフワフワーほわーっていう甘々と、あとは賑やかしの部分を担当させていただいたんですけど、色んな楽しさを声に出せていたらいいなと思いながらやらせていただきました！

続きまして、演じるに当たって特に意識した事や役作りがあれば教えてくださいという事なんですけど。勇千君は……なんていうんですかね、脳直？ あんまり考えずにしゃべる……っていうとすごい勇千君に……ごめんなさい！ごめんなさい、失礼なんですけど！ 違うんです、説明しますね。人によって考えてることが言葉になるスピードが違うっていうのがある気がしてて、すごく自分の中の気持ちを整理しながらしゃべる人って、考えている事が言葉になるスピードがゆっくりめじゃないですか。うん。で、勇千君は結構感じた気持ちをそのままストレートに出して相手に対して投げかけていくっていうタイプなのかなと思っているので、そのスピードがすごく速いっていう意味で、自分の中で隠す部分がないというかすごく真っ直ぐな人なんだろうなっていうところでですね。できるだけその部分のスピードを上げるというか、イメージとしては音ゲーのすごい速いやつをやってるみたいな。タカタカタカ！ってやってるみたいな感じのイメージがありましたね。すごく良い子だと思うのでそういう優しさとか、あとヒロインちゃん大好きな部分とかもですね、できるだけストレートにストレートに出していけたらいいなーという感じでやらせていただいております、ハイ！

あとは、次のトークテーマは、特に注目して欲しいシーンやトラックなどがありますか？ということなんですけども。うん、そうですね。甘々なトラックもなんですけど……。やっぱりさっきも言ったんですけど、やっぱり最後のトラックかなー？ すごく楽しかったです！わちゃわちゃ感を楽しんでいただけたら嬉しいです、勇千君も本領発揮というか。勇千君がなのかな、あれは？(笑) 僕がビビってる時の真似だったような気もするんですけど。(笑) すごくそこは共通点を感じる部分で、楽しみながら演じさせていただいております、うん。そう！さりげなくなんですけど、ゴーストと勇千君がちゃんとお話するっていう大切なシーンでもあって。勇千君が独占欲をバリバリ前に出すとか、「何だお前近づいてくるな！」っていう感じじゃなくて、ちゃんとピースフルにというか、ゴーストとまずは話し合ってみよう！っていう風に思うあたりとか、すごく勇千君良い奴だなーって思ったりしてて。だいぶビビりながら走り回っていたので幽霊怖さの方が先に立っちゃうんですけど、すごく良いシーンだなーと思った記憶がございます、ハイ。

続きまして、トラック3。トラックじゃない、もー！！！(笑) テンションが上がりすぎて冷静になったら文章が読めない状態ですね、すみません。(笑) 次のトークテーマが、今回は彼氏である勇千が肝試しに誘う事でストーリーが始まりますが、肝試しやホラー映画・お化け屋敷などは好きですか？「こんな怖い体験をしたよ！」など、おばけにまつわるエピソードがあれば教えてください、ということなんですけど。ホラー系はねー……苦手でねー……。(笑) そう。勇千君と同じくらい苦手で。びっくりするのが苦手というか、ドキドキしてしまうので。ふおー！ってなってしまうので自分で手は伸ばさないんですけど、一緒に観ようって言われたら、そうかー？見るかー……？って感じで観るんですけど……。なので、基本避けてきたのでそこまでエピソードはないんです……あ、一個ありましたね。実際にお化けとかそういう話ではなくて、ホラーゲームを友達のお家でした時の話なんですけど。一回友達のお家に行ったときに、野郎ばかり数人集まって。そのお家に結構集まって、たまり場じゃないですけど仲良い子たちが集まるお家があったんですよ。その子のお家が猫飼ってたりとかして結構広いお家だったので、みんな集まってたんですね。で、夜になって日が沈んだ頃に、おい！ちょっとホラーゲームやろうぜ！みたいなノリがあって。しかも電気を消して真っ暗な部屋でやろうぜっていう風になったんですよ。嫌だ嫌だ嫌だ！！って言ったんですけど、まあまあまあまあ……って言われてしぶしぶ……。僕はプレイしないけど他の子がプレイしてるのを数人で見守るみたいな状態になって。で、一人プレイ用のゲームだったんですけども、ものすごい暗い部屋の中をスーッて(歩いて行って)。微妙に低い音がドゥーーンって鳴ってるみたいなところを、カツカツカツカツ……って歩いてくっていう。もう、絶対来るぞ、絶対来るぞ……！っていうあの雰囲気を出しながら、ギリギリプレッシャーかけてくる感じのシーンになって、怖ーっ！と思って。猫が膝の上に乗ってきたのでおーよしよしって言って見てたんですけど。やだなーって思いながら猫を撫でてたら、突然猫がニャニャニャニャニャ！！って言いながら走り出して。もうびっくりして僕はもう完全にさっきの勇千君とほぼ同じ「あー！！！」っていう絶叫をしてですね。で、それに周りのみんなが驚いて、うおおー！！って言って。それでうわーってさらに僕もなって、ギャーってなって。すごい怒られたっていう話なんですけど……(笑) まあ……ビビリなんですよ、ハイ。ビビリです。ハイ！(笑)

ということでトークテーマ以上でございます。(笑) なんかビビリってことしか伝わってない気がする、大丈夫かな……？(笑)

ハイ。ということで最後に聴いていただいた皆様にメッセージをということで。改めましてお聴きいただきましてありがとうございます。勇千君、非常に……さっきも言ったんですけど真っすぐに良い子で、ゴーストもすごく魅力あふれる役だと思っている。色んな楽しみ方ができる作品かと思うので、本編通して聴いても良いと思いますし、お好きなトラックたまに聴いていただくとかでも良いと思うので、楽しんで繰り返し聞いていただけたら嬉しいなと思っております！ハイ！

ということで、フリートークでございました。お相手は三橋渡でしたー！またね♪